

高総第 40 号
令和 6 (2024) 年 4 月 26 日

高根沢町議会議長 神 林 秀 治 様

高根沢町長 加 藤 公 博



「高校生と議員とのカフェ・ド・ギカイ」からの提言に対する回答について

時下益々のご清祥のこととお慶び申し上げますとともに、日頃から町政運営に関しご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和 6 年 3 月 26 日付け高議第 179 号により提言等のありましたことにつきまして、別添のとおり回答いたしますので、ご査収くださいますようお願いいたします。

提言

国道4号から県道宇都宮那須烏山線（宝積寺バイパス）に入ったところの跨道橋側面に町のキャッチコピーが描かれているが、劣化して見えにくくなっている。

町の玄関口に当たる場所でもあるので、町のPRやイメージアップのために刷新すべきである。ただし、当該場所の塗り替えが不可能な場合には、設置手法や設置場所を変更し、検討いただきたい。

なお、刷新の際には、キャッチコピーやデザインの検討に町内小中学生に参加してもらい、郷土愛の醸成や地域活性化につなげて欲しい。

回答

県道宇都宮那須烏山線の宝積寺バイパスに架かる石神歩道橋（認定外道路）と町道139-1号橋の側面のキャッチコピーの刷新につきましては、国道4号と県道との交差点に近く交通量が極めて多い道路での作業となり、嚴重な道路通行規制が必要となります。現状の交通量では通行車両の安全を確保することが難しいことから、一般国道408号宇都宮高根沢バイパスの整備が完了した後に、交通量の推移を確認し、関係機関と再度協議した上で判断したいと考えています。

また、キャッチコピーやデザインの検討につきましては、例えば、町のタグライン『自然を吸い込む、街の音が聴こえる』は町民の皆様にも親しみを持っていただくため『タグライン総選挙』を開催し、町在住の方、町内に通勤・通学されている方の投票で決定いたしました。選挙啓発やごみ減量のポスター、標語等も小中学生を含めた町民の皆さまに応募を依頼するなど、郷土愛の醸成や地域活性化につながるよう実施しておりますので、今後も町民の皆さまと協働のまちづくりを実現できるよう努めてまいります。